

## 令和4年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第3回）

### 議事概要

1 日時：令和4年9月15日（水）13：30～15：30

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（7名）五十音順

圓藤 陽子 圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長

◎岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

眞鍋 昇 大阪国際大学教授（学長補佐）

丸井 英二 人間総合科学大学教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 神戸薬科大学客員教授

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか3名が、事務局から鋤柄事務局長ほか8名が出席した。

4 議事概要

（1）令和3年度終了研究課題の事後評価結果（案）について

- 前々回及び前回の事後評価部会のヒアリング審査における各委員の意見を取りまとめて作成した各課題の評価所見（案）について、審議を行った。
- その結果、各委員からの意見を踏まえて、評価所見（案）の文言を若干修正し、食品安全委員会に報告することになった。

<事後評価対象課題>

- ・ 認知心理学を応用した中学生・高校生を対象とした食品安全に関する理解促進プログラム（教材）の開発
- ・ アクリルアミドばく露による発がんリスク評価～大規模コホート研究保存検体を用いたコホート内症例対照研究による検討
- ・ アニサキス汚染実態調査およびリスク低減策の評価に関する研究
- ・ ベイズ推定を活用したベンチマークドーズ法の評価手法検討と国際動向に関する研究
- ・ 家畜由来薬剤耐性菌の水圏・土壌環境を介した野菜汚染の定量評価およびヒトへの伝播に関する研究
- ・ 食肉由来耐性菌の全ゲノムシーケンスを用いた薬剤耐性特性解析に関する研究

- ・ *In silico* 手法の導入による食品関連化学物質の肝毒性予測の精緻化に関する事例研究
- ・ 食品用器具・容器包装に用いられるビスフェノールAのリスク評価に資する科学的知見の検討に関する研究
- ・ ベイズ統計学に基づく推定手法を活用したアレルギー症状誘発確率の推計に関する研究
- ・ ベンチマークドーズ法によるアレルギー症状誘発確率の検討

(2) 食品安全確保総合調査の事後評価結果（案）について

令和3年度食品安全確保総合調査課題の事後評価結果（案）について、審議を行い、当該案が了承された。

<事後評価対象課題>

- ・ 特定の新規食品の安全性評価手法に関する調査
- ・ 野生動物由来の食肉中のハザードに関する調査
- ・ 化学物質のリスク評価における不確実係数の設定に関する調査

—以上—

(注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。)